

様式第6号(第18条関係)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和 6 年 3 月 31 日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地
名 称
代 表 者 の 氏 名
電 話 番 号

宮崎市小松台西1丁目10番地7
小松台地域まちづくり委員会
会 長 宮川 保
0985-48-1245

令和5年4月1日付宮地第4号28で変更交付金決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (1) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書
- (2) 事業実施報告・収支決算書
- (3) 事業別収支計算書
- (4) 積立金管理状況報告書
- (5) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (6) 地域まちづくり委員会備品管理台帳の写し
- (7) 地域協議会の意見書

令和 5 年度 事業実施報告・収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

1 総括

今期は予定していた全事業を実施し今年も事故なく終了した。今期の特徴は参加者人数が大幅に増えた。「ふれあいIN小松台」「プレーパーク」は除いて昨年726人に対し今期980人と254人の増になった。「ふれあいIN小松台」はPTA参加を再開したこともあり538人増「プレーパーク」は週2回開催にしたことにより1,705人増になった。来期も地域のニーズを把握しまちづくりのテーマに沿って取り組んで行く。

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	予算	決算	差	備考
1	基礎交付金	2,185,000	2,185,000	0	
2	繰越金	845,721	845,721	0	
3	負担金	185,500	117,800	△ 67,700	
5	その他	20	16	△ 4	預金利息16円
合計		3,216,241	3,148,537	△ 67,704	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防犯会 防災	小松台地域防災事業	15年目	616,000	396,241	△ 219,759	
	明るいまちづくり事業	15年目	339,250	284,458	△ 54,792	
健康福祉部会	ふれあい充実事業	15年目	268,000	145,483	△ 122,517	
	三世代交流事業	13年目	38,000	39,041	1,041	
	健康福祉事業	14年目	39,500	34,121	△ 5,379	
環境部会	環境美化学習事業	12年目	209,500	174,335	△ 35,165	
	食育農業体験事業	14年目	100,000	105,997	5,997	
	資源リサイクル事業	14年目	10,000	3,060	△ 6,940	
	地域猫活動事業	7年目	39,500	35,309	△ 4,191	
教育文化スポーツ部会	「ふれあいin小松台」共催事業	14年目	332,500	298,016	△ 34,484	
	子ども夢事業	12年目	132,000	127,111	△ 4,889	
	大人のための実用講座開催事業	10年目	20,000	13,235	△ 6,765	
総務企画委員会	門松づくり支援事業	10年目	176,000	121,182	△ 54,818	
	まちづくり研修事業	14年目	420,000	128,165	△ 291,835	
	小松台地域文化事業	1年目	0	0	0	
	事務管理事業	15年目	475,991	393,353	△ 82,638	
計			3,216,241	2,299,107	△ 917,134	
繰越金			0	849,430	849,430	
合 計			3,216,241	3,148,537	△ 67,704	

総収入－総支出額＝差し引き残額(次年度繰越金)

繰越金		3,148,537	2,299,107	849,430
-----	--	-----------	-----------	---------

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	小松台地域防災事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	286,241	
2	繰越金	110,000	
3	積立金取崩		
4	合計(A)	396,241	

(2) 支出の部

番号	科目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	391,206	各自治会防災訓練支援 50,000 5自治会分 備蓄品(カンパン・保存水・ 保存缶入りパン) 159,973 防災の日、防災標語参加賞 他 181,233
5	役務費	4,235	自主防災組織研修、防災の 日の保険料 4,235
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	800	「自主防災組織研修」集会 場使用料 800
8	工事請負費	0	
9	原材料費		
10	備品購入費	0	
11	積立金		
12	合計(B)	396,241	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	明るいまちづくり事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	284,458	
2	繰越金	0	
3	負担金		
4	合計(A)	284,458	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費	0	
3	旅費		
4	需用費	49,494	ガソリン代 12ヶ月分(4月～3月)他 42,564 パトランプ電球3個 6,930
5	役務費	73,410	青パト自動車保険料 73,410 傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	149,160	軽自動車リース料(年間) 149,160
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	12,394	パトライト破損の為交換 12,394
11	積立金		
12	合計(B)	284,458	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	ふれあい充実事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	15,983	
2	繰越金	92,000	
3	負担金	37,500	参加者負担金(25名×1500円)
4	合計(A)	145,483	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費	3,000	看護師添乗 謝金 3,000
3	旅費	15,400	スタッフ日当 7名分 15,400
4	需用費	54,098	食事代46,800円 水族館入館料3,900円 乗り物酔い薬他3,398円 54,098
5	役務費	1,485	高齢者日帰り旅行保険料 1,485
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	71,500	高齢者対象日帰り貸切バス大型1台 71,500
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	145,483	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	三世代交流事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	29,041	
2	繰越金	10,000	
3	負担金		
4	合計(A)	39,041	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	35,937	餅つき、材料代 35,937
5	役務費	3,104	傷害保険料 3,104
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	39,041	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	健康福祉事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	決算額	摘 要
1	基礎交付金	13,221	
2	繰越金	17,000	
3	負担金	3,900	ママ料理教室13名×300円 3,900
4	合計(A)	34,121	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘 要
1	賃金		
2	報償費	18,000	子育てママ料理6,000円 健康づくり教室12,000円 (看護師、理学療法士) 18,000
3	旅費		
4	需用費	12,566	ママ料理教室材料費 12,566
5	役務費	3,555	保険料 (認知症、健康づくり、料理教室) 3,555
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	34,121	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	環境美化学習事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	106,335	
2	繰越金	30,000	
3	負担金	38,000	花の寄せ植え教室 負担金4回分 38,000
4	合計(A)	174,335	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費	21,000	花の寄せ植え教室3回×6,000 21,000 ホタル勉強会1回×3,000
3	旅費		
4	需用費	114,578	花の寄せ植え教室材料費(4回) 114,000 誘導棒の電池代 578
5	役務費	5,757	寄せ植えホタル傷害保険料 5,757
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	33,000	貸し切りバス1台(ホタル観察) 33,000
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	174,335	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	食育農業体験事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	決算額	
1	基礎交付金	75,997	
2	繰越金	30,000	
3	負担金		
4	合計(A)	105,997	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	87,293	さつまいも、落花生・じゃがいも 苗代 22,210 堆肥、ネット他消耗品代 45,121 作業時のお茶代 3,522 ひまわり種代 9,600 スコップ小3本 6,840
5	役務費	8,704	保険料(じゃがいも堀り、収 穫祭) 8,704
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	10,000	畑借地料 10,000
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	105,997	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	資源リサイクル事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	3,060	
2	繰越金	0	
3	負担金		
4	合計(A)	3,060	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	3,060	キャップ回収時のビニール袋購入 3,060
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	3,060	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	地域猫活動事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	35,309	
2	繰越金	0	
3	負担金		
4	合計(A)	35,309	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	35,309	ノラ猫捕獲・支援用エサ代 35,309
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	0	
11	積立金		
12	合計(B)	35,309	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	「ふれあいin小松台」共催事業
-----	-----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	258,016	
2	繰越金	40,000	
3	負担金		
4	合計(A)	298,016	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	288,681	講座材料費 (33講座・お茶会の消耗品) 144,011 弁当代(お茶付き)600円×183個 110,000 講師・補助者用袋代200円 ふれあいin小松台冊子3,000部印刷代 29,770 ふれあいin小松台通信用切手代 4,900
5	役務費	9,335	保険料 (前日準備・当日分) 9,335
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	298,016	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	子ども夢事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	65,111	
2	繰越金	62,000	
3	負担金		
4	合計(A)	127,111	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費	51,000	おもちゃ病院謝金4回分24,000円 プレーパーク27,000円
3	旅費		
4	需用費	70,171	工作教室材料費 14,368 プレーパーク材料費 55,803
5	役務費	5,940	保険料(親子工作教室・天文教室) 5,940
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	127,111	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	大人のための実用講座開催事業
-----	----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	13,235	
3	負担金		
4	合計(A)	13,235	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費	12,000	スマホ講師2名×6,000円 12,000
3	旅費		
4	需用費	0	
5	役務費	1,035	傷害保険料 1,035
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	200	北町集会所空調機使用 200
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	13,235	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	門松づくり支援事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	62,782	
2	繰越金	20,000	
3	負担金	38,400	負担金収入300円×128世帯 38,400
4	合計(A)	121,182	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	121,182	消耗品(袋・マジック・荷札) 121,182 材料費(土・竹・鉢・他)
5	役務費	0	
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	121,182	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区
小松台地域まちづくり委員会

事業名	まちづくり研修事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	決算額	摘要
1	基礎交付金	48,165	
2	繰越金	80,000	
3	負担金		
4	合計(A)	128,165	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	摘要
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	30,800	日当2,200円×14名 30,800
4	需用費	6,080	えびの市、えびのまちづくり4団体、大霧発電所 6ヶ所分謝礼品 6,080
5	役務費	1,485	研修傷害保険 1,485
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	89,800	美都観光貸切バス 89,800
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	128,165	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

令和5年度事業別収支決算書

小松台地域自治区

小松台地域まちづくり委員会

事業名	事務管理事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	決算額	
1	基礎交付金	51,851	
2	繰越金	341,486	
3	負担金		
4	その他	16	預金利息16円 16
5	合計(A)	393,353	

(2) 支出の部

番号	項目	決算額	
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	41,000	役員弁償費用13名×3,000円他 41,000
4	需用費	280,783	文具類、紙代他 127,814 RISO印刷機トナー、マスター代 23,100 印刷製本費:2,500部 15,470 固定電話、au携帯電話代金、インターネット代 114,399
5	役務費	17,970	ボランティア保険25名分×500円 17,970 切手代他5,470円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	800	ハイランド使用料金 800
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	52,800	ボイスレコーダー1台39,600円 52,800 インターネットルーター交換13,200円
11	積立金		
12	合計(B)	393,353	

収支差額(A)-(B)	0
-------------	---

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	(防犯防災部会)小松台地域防災事業	実施年数	15年目																														
事業期間	開始: H21 年度	終了: 年度																															
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 安心、安全なまちづくり お互いに助け合い、支え合う「互助・共助」のまち																																
目的 (期待される効果)	災害時に住民が迅速に対応できるよう、自主防災組織の研修や、避難所運営訓練を行なうとともに、小松台地域の各自治会で行われる防災訓練の支援や備蓄品を購入し防災意識の向上を図る。																																
事業内容・手段	1. 自主防災組織の研修会 ・6月9日19:00～ハイランド集会所にて実施、参加者名46名 2. 令和5年第1回小松台小学校避難所運営委員会 ・5月24日19:00～開催 矢野周一様「熊本地震避難所運営体験講話」 3. 「小松台地域防災の日」 ・10月15日 小松台小学校体育館にて実施 一般参加者115名のぼり立て、防災標語表彰(小松台小学校児童より募集) ・防災スタンプラリー6箇所設置 親子3世代楽しく体験した。 ①防災クイズ②スモークハウス③新聞紙スリッパ ④段ボールベッド⑤ロープワーク⑥音の体験 4. 令和5年度第2回小松台小学校避難所運営委員会 ・令和6年1月24日(水)18:00～地域事務所会議室 ・能登半島地震について意見交換他。 5. 各自治会で行う防災訓練支援 ・4自治会で行った防災訓練に支援。 6. 非常用備蓄品の購入 ・各自治会に非常用備蓄缶詰、水等他 購入。																																
事業費	396,241円																																
対象者	小松台地域住民																																
参加者数 (内訳)	(1) 自主防災組織研修会 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>37名</td><td>20名</td><td>16名</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>9名</td><td>9名</td><td>9名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>46名</td><td>29名</td><td>25名</td></tr> </tbody> </table> (2) 小松台防災の日 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>115名</td><td rowspan="2">中止</td><td rowspan="2">中止</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>20名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>135名</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	37名	20名	16名	スタッフ	9名	9名	9名	合 計	46名	29名	25名	年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	115名	中止	中止	スタッフ	20名	合 計	135名		
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																														
一般参加者	37名	20名	16名																														
スタッフ	9名	9名	9名																														
合 計	46名	29名	25名																														
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																														
一般参加者	115名	中止	中止																														
スタッフ	20名																																
合 計	135名																																
住民の声(アンケートの結果等) ※感想については原本とおりです。	「自主防災組織研修会」 ・自助と共助をすることによって地域の防災力を上げることができ ける。 ・知らない事が沢山あり、危機感がないことに反省した。 ・防災の知識を身に付ける事の大切さを改めて感じた。 ・日々の生活に追われ防災を考えなかったが、改めて災害の恐ろ しさを知った。 ・自治会単位の自主防災組織に無理がある地域全体の組織が必要 では。																																

3 実施報告

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民づくりの まちづくりの 主体の	①地域ニーズの把握	A	A	防災対策は最優先の課題の為、自治会からの要望も高い事業。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会を通してチラシの配布各自治会の集会等で周知している。
	②住民の参加	A	B	自主防災組織研修を各自治会防災担当者が集まり行った			A	B	防災の日を実施した。3世代に渡る多数の参加者で防災について勉強した。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	高齢者が多い中で災害時に迅速に対応できるよう防災訓練に取り組む。	事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	自主防災組織研修に参加し改めて日常の備えの必要性を感じた。
	④各種団体との連携	A	A	・消防署 ・小松台小学校 ・各自治会			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 「小松台防災の日」をコロナ禍後、初めて行う事ができた。スタンプラリー形式で防災訓練を行い多数の参加者で賑わった。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和 5年 3月・)＞ 「小松台防災の日」は、コロナ禍の為、中止になりましたが、今後も継続的な取組をお願いします。 ＜意見への対応＞ 取り組んでまいります。						対応	未・済
		＜地域協議会からの意見(平成 年 月・)＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[1]防犯・防災に係る事業

事業名	(防犯防災部会)明るいまちづくり事業	実施年数	15年目																								
事業期間	開始: H21 年度	終了: 年度																									
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 安心、安全なまちづくり 防犯見守り活動などが行き届いた安心なまち																										
目的 (期待される効果)	防犯パトロールを実施し犯罪の抑制及び青少年の健全育成を図り、犯罪のない安心なまちづくりを目指す。																										
事業内容・手段	1. 防犯パトロール活動 ・隊員によるパトロール車を利用した防犯パトロール。 ・パトロール車の年間リース契約を行う。 2. 年末青パト発隊式に参加 ・場所…宮崎県警察南署 ・実施日…12月1日 9:30～10:30 ・参加人数…2名																										
事業費	284,458 円																										
対象者	小松台地域住民																										
参加者数 (内訳)	防犯パトロール隊員数 <table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td><td>令和3年度</td></tr><tr><td>隊員数</td><td>26名</td><td>26名</td><td>25名</td></tr></table> 防犯パトロール延べ回数・延べ人数 <table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td><td>令和3年度</td></tr><tr><td>延べ回数</td><td>88回</td><td>81回</td><td>47回</td></tr><tr><td>延べ人数</td><td>176名</td><td>163名</td><td>94名</td></tr><tr><td>延べ時間</td><td>90時間</td><td>83時間</td><td>49時間</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	隊員数	26名	26名	25名	年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	延べ回数	88回	81回	47回	延べ人数	176名	163名	94名	延べ時間	90時間	83時間	49時間
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																								
隊員数	26名	26名	25名																								
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																								
延べ回数	88回	81回	47回																								
延べ人数	176名	163名	94名																								
延べ時間	90時間	83時間	49時間																								
住民の声(アンケートの結果等)	・青パトの巡回活動が小松台地域の安全に繋がっているように思う。 ・こどもの交通事故防止、見守りになっている。																										

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域の防犯、交通安全の為、地域住民より継続を希望する声強い。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会を通してチラシの配布各自治会の集会等で周知している。
	②住民の参加	A	A	小松台住民の有志者がパトロール隊員になっている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の防犯、交通安全確立の為、継続して取組む必要有。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	宮崎南警察署 小松台小学校 各自治会	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見(令和5 年3月・)＞ 青パト活動は、地域の防犯や交通安全に大きく貢献しています。更に住民に活動の浸透と隊員増員のための広報に努めてください。						対応	未・済	
	＜意見への対応＞ チラシ配布、各自治会への呼びかけを通じて広報していきます。								
	＜地域協議会からの意見(令和 年 月・)＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済	

3 実施報告

[2]地域福祉に係る事業

事業名	(健康福祉部会)ふれあい充実事業	実施年数	15年目																
事業期間	開始:H21 年度	終了: 年度																	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 健康と福祉の充実したまちづくり 健康づくり、仲間づくりに取り組む																		
目的 (期待される効果)	高齢者の閉じこもりや悩みなどを解消するため、興味のある事業を行い、高齢者が地域に参加するきっかけをつくる場を提供する。																		
事業内容・手段	高齢者日帰り旅行(小林市) ①行先…出の山淡水魚水族館、すきむらんど、すき酒造見学 ②実施日…令和5年11月22日 ③内容…貸切バス(大型)にて出の山水族館で淡水魚、チョウザメの養殖を見学した。すきむらんどで紅葉を楽しみ、酒造見学で焼酎の試飲を楽しんだ。 ④天候…バス旅行には最高の晴天でした。 行程 事務所出発10:00→水族館→食事→すきむらんど→すき酒造道の駅ゆーぱるのじり→事務所着16:45																		
事業費	145,483円																		
対象者	70歳以上一人暮らしの方で小松台地域在住の方。																		
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>5年度</th><th>4年度</th><th>3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>26名</td><td>15名</td><td>14名</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>7名</td><td>7名</td><td>5名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>33名</td><td>22名</td><td>19名</td></tr> </tbody> </table>			年 度	5年度	4年度	3年度	一般参加者	26名	15名	14名	スタッフ	7名	7名	5名	合 計	33名	22名	19名
年 度	5年度	4年度	3年度																
一般参加者	26名	15名	14名																
スタッフ	7名	7名	5名																
合 計	33名	22名	19名																
住民の声(アンケートの結果等) ※感想については原本とおりです。	・一人で行けないので連れて行ってくださってありがとうございました。 ・食事の場所は椅子だとよかったです。量はよかった。 ・スタッフの皆さんありがとうございました。 ・行程的には今回の様な近場が無理なく時間的にも良かったと思います。 ・日帰り旅行を年2回にしてほしい。 ・季節的には今ぐらいがちょうど良かったです。																		

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年、事業実施時にアンケートを取りその意見を次年度事業に反映させている。	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会、社会福祉協議会、民生委員を通じてチラシを配布。
	②住民の参加	A	A	高齢者1人暮らし世帯が増えている中で、好評を得ている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の高齢化が進む中で孤立な方や外出をためらう方の交流を図る為に取組みしている。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	各自治会		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・コロナが第5類になったことにより参加人数を15人から25人に増やした。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 5年 3 月・)> 高齢者の閉じこもりや悩みを解消するための事業なので、参加者負担金や、行先及び参加者数等について検討してください。 <意見への対応> 行先、負担金に無理のない事業を心がけています。						対応	未・済
		<地域協議会からの意見(令和 年 月・)> <意見への対応>						対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2]地域福祉に係る事業

事業名	(健康福祉部会)三世代交流事業	実施年数	13年目																				
事業期間	開始: H23年度	終了: 年度																					
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 健康と福祉の充実したまちづくり 健康づくり、仲間づくりに取り組む																						
目的 (期待される効果)	子供や親、高齢者の交流を図り日本文化の継承を促す。																						
事業内容・手段	もちつきふれあい会 ・実施日時…12月2日 8:00～12:30 ・実施場所…小松台小学校 体育館前 ・天 候…快晴 前日(1日)からスタッフは準備に入り当日は晴天に恵まれ、子ども、親、高齢者で、にぎやかに、もちつきを行った。 蒸し器を2台設置し臼は2台用意し三世代で餅をつき、ついた白餅とねりくりを参加者全員にお持ち帰り頂いた。																						
事業費	39,041円																						
対象者	小松台地域住民																						
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>5年度</th><th>4年度</th><th>3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども</td><td>46名</td><td>21名</td><td>33名</td></tr> <tr> <td>大人</td><td>31名</td><td>12名</td><td>38名</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>11名</td><td>9名</td><td>11名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>88名</td><td>42名</td><td>82名</td></tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	5年度	4年度	3年度	子ども	46名	21名	33名	大人	31名	12名	38名	スタッフ	11名	9名	11名	合 計	88名	42名	82名
年 度	5年度	4年度	3年度																				
子ども	46名	21名	33名																				
大人	31名	12名	38名																				
スタッフ	11名	9名	11名																				
合 計	88名	42名	82名																				
住民の声(アンケートの結果等) ※感想については原本とおりです。	・子ども達も初めての餅つきで貴重な経験でした。 ・今の時代経験できないことなのでとても楽しかった。 ・久しぶりにきねを搗いて楽しかった。 ・年に一度楽しみにしてきました。 ・子ども達がすごく楽しかったです。 ・餅つきも丸める事もできて楽しかったです。																						

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年、事業実施時にアンケートを取りその意見を次年度事業に反映させている。	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会を通じてチラシを配布。
	②住民の参加	A	A	高齢化社会のなかで三世代交流は重要なテーマである。昨年に続き今回も三世代がバランスよく参加した。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	日本の伝統行事であるもちつきを継承という意味で取組みしている。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	各自治会	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 5年 3 月・)> 餅つきを通じ幅広い世代が参加して交流できる良い事業となっています。今後も継続して、世代間交流に努めてください。 <意見への対応> 参加者も多くにぎやかな事業です。今後も継続して世代間交流に努めてまいります。						対応	未・済
		<地域協議会からの意見(平成 年 月・)> <意見への対応>						対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2]地域福祉に係る事業

事業名	(健康福祉部会)健康福祉事業	実施年数	14年目																													
事業期間	開始： H22 年度	終了： 年度																														
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 健康と福祉の充実したまちづくり 健康づくり、仲間づくりに取組む																															
目 的 (期待される効果)	認知症や生活習慣病の予防など、福祉と健康に関する知識や理解を深めてもらう研修会を行う。又、SOSネットワーク宮崎について加入や理解を促す。																															
事業内容・手段	1. 子育てママ料理教室 10月7日(土)生目交流センターにて実施 参加者13名 原田先生を招き塩こうじ、醤油こうじを作り試食した 調味料料理は初めての試みで好評でした。 2. 健康づくり教室 実施日…12月15日 10:00～12:00 場 所…北町集会場 骨密度、血管年齢測定、理学療法士田中氏の講演 参加者…42名 3. 認知症サポーター養成講座 実施日… 9月14日 10:00～11:30 場 所…地域事務所会議室 参加者…13名 ※今期でサポーター養成講座を終了し来期より認知症学習会に変更します。 4. SOSネットワークの加入推進																															
事業費	34,121円																															
対 象 者	小松台地域住民																															
参加者数 (内訳)	・子育てママの料理教室 <table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>13 名</td><td rowspan="3">中止</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>5 名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>18 名</td></tr></table> ・健康づくり教室 ・認知症サポーター養成講座 <table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>42 名</td><td rowspan="3">中止</td><td>13 名</td><td>12 名</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>5 名</td><td>3 名</td><td>5 名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>47 名</td><td>16 名</td><td>17 名</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	13 名	中止	スタッフ	5 名	合 計	18 名	年 度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	42 名	中止	13 名	12 名	スタッフ	5 名	3 名	5 名	合 計	47 名	16 名	17 名
年 度	令和5年度	令和4年度																														
一般参加者	13 名	中止																														
スタッフ	5 名																															
合 計	18 名																															
年 度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度																												
一般参加者	42 名	中止	13 名	12 名																												
スタッフ	5 名		3 名	5 名																												
合 計	47 名		16 名	17 名																												
住民の声(アンケートの結果等) ※感想については原本とおりです。	○子育てママの料理教室 ・麴調味料が簡単に作れたので家で習慣化したいと思いました。 ・他のママさんとお話できて良かったですリフレッシュしました。 ○地域健康づくり教室 ・足の体操が良かったです。 ・これからもこんなイベントがあったら良いと思ってました。 ○認知症サポーター養成講座 ・母が認知症になりました。どう声かけてよいか寸劇で良くわかりました。 ・初めての講座でした知識、理解を深め地域ボランティアに活かしたい。																															

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項			評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年、事業実施時にアンケートを取りその意見を次年度事業に反映させている。	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会、社会福祉協議会、民生委員を通じてチラシを配布。
	②住民の参加	B	B	高齢化社会の中で重要なテーマだが、今回、参加者が昨年より減少した。			B	B	昨年に続き認知症講座の参加者が少なかった。認知症にかからない講座に変える。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	小松台では、高齢化率が40%近くになり認知症、健康食は関心の高いテーマです。			事業の効果	⑦住民の満足度	A
	④各種団体との連携	A	A	各自治会	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 健康づくり教室を従来の講演、体操から健康測定、健康長寿に特化した体操に変更した。参加者も多かった。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和 5年 3 月・)＞ 認知症サポーター養成講座は、認知症に対する理解を深める良い活動です。今後も地域住民や地域団体と連携した取組を期待しています。 ＜意見への対応＞ 高齢者の多い小松台地域では必要な事業です各団体と連携し取り組んでまいります。						対応	未・済
		＜地域協議会からの意見(平成 年 月・)＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[3]環境に係る事業

事業名	(環境部会)環境美化学習事業	実施年数	12年目																																		
事業期間	開始: H24年度	終了: 年度																																			
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 地域の絆づくり 子供たちが戻ってきたいと思えるような郷土愛のあるまち																																				
目的 (期待される効果)	大谷川河川浄化や、地域のゴミ問題について学習し、環境問題を考える。																																				
事業内容・手段	1. ホタル勉強会&観察会 ・実施日…5月14日18:00～20:45 ・場所…瓜田ダム(高岡町) ・参加者…40名 2. 花の寄せ植え教室 ①回目 花の寄せ植え ・日時 令和5年4月26日 参加者…20名 ・場所 小松台地域事務所会議室 ※市の景観課出前教室で実施 ②回目 多肉植物寄せ植え ・日時 令和5年7月26日 参加者…16名 ・場所 小松台地域事務所会議室 ※多肉植物…原田先生 ③回目 花の寄せ植え ・日時 令和5年11月29日 参加者…19名 ・場所 小松台地域事務所会議室 ※オープンガーデンサンフラワー宮崎…新名先生 ④回目 花の寄せ植え ・日時 令和6年2月8日 参加者…20名 ・場所 小松台地域事務所会議室 ※オープンガーデンサンフラワー宮崎…新名先生																																				
事業費	174,335 円																																				
対象者	小松台地域住民																																				
参加者数 (内訳)	ホタルの勉強観察会 <table><tr><th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr><tr><td>一般参加者</td><td>40 名</td><td>27 名</td><td rowspan="3">コロナ禍の為、中止</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>8 名</td><td>10 名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>48 名</td><td>37 名</td></tr></table> 花の寄せ植え教室 <table><tr><th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr><tr><td></td><td>4回実施</td><td>4 回実施</td><td>3回実施</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>75名</td><td>59名</td><td>45名</td></tr><tr><td>スタッフ (1回あたり)</td><td>7名</td><td>15名</td><td>13名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>82名</td><td>74名</td><td>58名</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	40 名	27 名	コロナ禍の為、中止	スタッフ	8 名	10 名	合 計	48 名	37 名	年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度		4回実施	4 回実施	3回実施	一般参加者	75名	59名	45名	スタッフ (1回あたり)	7名	15名	13名	合 計	82名	74名	58名
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																																		
一般参加者	40 名	27 名	コロナ禍の為、中止																																		
スタッフ	8 名	10 名																																			
合 計	48 名	37 名																																			
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																																		
	4回実施	4 回実施	3回実施																																		
一般参加者	75名	59名	45名																																		
スタッフ (1回あたり)	7名	15名	13名																																		
合 計	82名	74名	58名																																		
住民の声(アンケートの結果等) ※感想については原本とお りです。	ホタル観察会 ・ま近にホタルを見れて感激でした。子どもの記憶に残る景色でした。 ・ホタルがたくさんいてきれいでした近くにホタルが来て楽しかったです。 ・宮崎市で初めてホタル見ました貴重な体験ありがとうございました。 花の寄せ植え ・初めての参加でした。とても楽しかったです。 ・なかなか抽選に当たらず、今回参加できてよかったです。 ・多年草の育て方をもっと知りたい。																																				

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項		
		本年度	前年度				本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年、事業実施時にアンケートを取りその意見を次年度事業に反映させている。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシ配布、各自治会での集会等で周知している。	
	②住民の参加	A	A	各実施事業とも多数の参加者で賑わった。花の寄せ植えは例年とおり応募が多く抽選で対応した。			⑥課題解決への作用	A	A	花の寄せ植えは毎回応募者が多く抽選で参加者を決めている。実施回数を増やす要望が多いが今年度から参加者を15名から20名に増員している。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	河川浄化とホタル生態の関係を環境問題に取組むきっかけにしている。 花の寄せ植え教室実施で環境の良い地域づくりに取組んでいる				⑦住民の満足度	A	A	各事業とも毎回のアンケートでも好評を得ている。
	④各種団体との連携	A	A	各自治会 小松台小学校	事業継続の必要性				有・無		
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・ホタル観察会の場所を瓜田ダム（高原町）に変えたがホタルの自生が多く喜ばれた。 ・花の寄せ植え参加者を15名から20名に今期から変更した。コロナが第5分類に変更したことによる。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 5年 3月・ ）＞ 各種事業は、家庭から地域へと美しく環境の良いまちづくりにつながっていく効果が期待できますので、継続した取組を期待しています。 ＜意見への対応＞ 地域住民のニーズの高い事業です引き続き継続します。							対応		未・済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応		未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[3]環境に係る事業

事業名	(環境部会)食育農業体験事業	実施年数	14年目																																
事業期間	開始: H22 年度	終了: 年度																																	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 地域の絆づくり 子供たちが戻ってきたいと思えるような郷土愛のあるまち																																		
目的 (期待される効果)	三世代と一緒に苗植えや草取りを体験し、収穫の喜びを実感する場をつくる。																																		
事業内容・手段	1. じゃがいも掘り、さつまいも・落花生植付け 6月10日実施。天候:雨 参加人数…57名 応募者102名の内、雨にも関わらず57名が参加してくれました子どもは雨の中、楽しんでいました。 2. 畑の手入れ 随時実施 3. お芋ほり体験(さつまいも、落花生)の実施 10月28日天候:晴天 参加人数…136名 晴天に恵まれ三世代の参加者も多く実施以来最高の人出で賑わいました。 4. じゃがいもの植付 3月予定																																		
事業費	105,997 円																																		
対象者	小松台地域住民																																		
参加者数 (内訳)	・じゃが芋掘り、さつまいも・落花生植付 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>57名</td><td>91名</td><td>41名</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>10名</td><td>10名</td><td>10名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>67名</td><td>101名</td><td>51名</td></tr> </tbody> </table> ・お芋ほり体験(さつまいも・落花生) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>136人</td><td>124 人</td><td>70人</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>13人</td><td>11 人</td><td>7人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>149人</td><td>135 人</td><td>77人</td></tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	57名	91名	41名	スタッフ	10名	10名	10名	合 計	67名	101名	51名	年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	136人	124 人	70人	スタッフ	13人	11 人	7人	合 計	149人	135 人	77人
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																																
一般参加者	57名	91名	41名																																
スタッフ	10名	10名	10名																																
合 計	67名	101名	51名																																
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																																
一般参加者	136人	124 人	70人																																
スタッフ	13人	11 人	7人																																
合 計	149人	135 人	77人																																
住民の声(アンケートの結果等) ※感想については原本とおりです。	○じゃが芋掘り ・あいにくの雨にも関わらず、孫たちがとても喜んでいました。いい体験をありがとうございました。 ・毎回楽しみにしております。次回のサツマイモ掘り楽しみにしています。 ・楽しかった。次回は孫を連れてこようと思っています。 ・いつもいい体験をさせていただいてありがとうございます。 ○お芋ほり体験(さつまいも、落花生) ・子ども達が楽しそうなのが嬉しかった。 ・自然の恵みを子ども達に体験させることができて良かった。 ・スコップなど使うことないのでいい経験になった。 ・ピーナッツは木になっているものと思ってました。 ・地域で子ども達が参加できるイベントでとてもありがたいです。																																		

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年、事業実施時にアンケートを取りその意見を次年度事業に反映させている。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシ配布、各自治会での集会等で周知している。
	②住民の参加	A	A	三世代に渡っての参加者も多く年を重ねるほど参加者も多くなっている。			⑥課題解決への作用	B	B	参加者が多くなり現状の耕作面積地では狭く代替え地を探すか近くで新たな耕作地を増やすか検討が必要になってきた。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	子供たちに土に親しむ機会を提供し野菜ができる過程を知ってもらい地域住民同士の交流に取り組む。			⑦住民の満足度	A	A	晴天に恵まれ、サツマイモ掘りは親子連れで過去最高の参加者で賑わい、大いに満喫してもらった。
	④各種団体との連携	A	A	各自治会		事業継続の必要性				有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和5 年 3 月・)＞ 収穫祭は、参加者も多く、親子ともに自然に触れ合う機会となっています。 ＜意見への対応＞ 参加者の多い人気のある事業です。引き続き取り組んでまいります。						対応	未・済	
		＜地域協議会からの意見(平成 年 月・)＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[3]環境に係る事業

事業名	(環境部会) 資源リサイクル事業		実施年数	14年目												
事業期間	開始: H22 年度		終了: 令和5年度													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 地域の絆づくり ゴミ分別やペットの糞処理がきちんとできる気配りのあるまち															
目的 (期待される効果)	ペットボトルキャップ回収運動に参加し、地域の人々がこの運動を通して環境について考えるきっかけになる。この運動はリサイクル意識を高め、発展途上国への医療支援(ワクチン)に貢献することにもなる。															
事業内容・手段	○ ペットボトルキャップ回収箱(8ヶ所)を設置し、随時回収する。 ・毎月回収したペットボトルキャップをミナミ金属宮崎へ配送しミナミ金属宮崎工場から(何キロ回収)の報告を受けた。 その結果を回収箱に協力して頂いた方に報告をした。 ・8設置ヶ所 ハイランド集会所、小松台地域事務所、小松台南ふれあい館、 北町集会所、まつぼっくり保育園、もりした公民館、桜ヶ丘集会所 山形屋ストアー															
事業費	3,060 円															
対象者	小松台地域住民															
回収実績 (内訳)	<table><tr><th colspan="4">回収実績※令和3, 4, 年度2月までの実績</th></tr><tr><th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr><tr><th>合 計</th><td>358. kg</td><td>354. kg</td><td>350. kg</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ				回収実績※令和3, 4, 年度2月までの実績				年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	合 計	358. kg	354. kg	350. kg
回収実績※令和3, 4, 年度2月までの実績																
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度													
合 計	358. kg	354. kg	350. kg													
住民の声(アンケートの結果等) ※感想については原本と おりです。																

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年、地域協議会、まちづくり総会を通じて意見を事業に反映している。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会、まちづくり委員会を通じて周知。
	②住民の参加	A	A	設置した回収BOXに参加してもらっている。			⑥課題解決への作用	A	A	キャップを回収する団体が増えてきたため環境部会では当初の目的は達成したためこの事業を卒業する。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各自治会と連携しキャップ回収に取り組んでいる。			⑦住民の満足度	A	A	取組みに高い評価を得ている。
	④各種団体との連携	A	A	各自治会 ミナミ金属 山形屋ストア 松ぼっくり保育園		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ この事業を14年間実施してきたが今期で終了にする。生目中学校でもペットボトルキャップ回収に取り組始めた事と当初の目的であるリサイクルの大切さを解ってもらう目的は達成したことによる。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和 5年 3月・)＞ ペットボトルキャップ運動は地域で定着しています。効果も満足できるものと考えます。 ＜意見への対応＞ 今年度でこの事業は終了します。						対応	未・済	
		＜地域協議会からの意見(平成 年 月・)＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[3]環境に係る事業

事業名	(環境部会) 地域猫活動事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始: H29 年度	終了: 年度													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 地域の絆づくり ゴミ分別やペットの糞処理が, きちんとできる気配りのあるまち														
目的 (期待される効果)	野良猫による糞尿等被害を最小限に抑え一代限りの野良猫化とする. 自治会及び動物愛護協会と連携しながら地域猫活動の拠点を設け、野良猫を捕獲し去勢不妊手術を受けさせ動物愛護精神の向上を図る。														
事業内容・手段	1. 地域拠点への支援 ・自治会と連携し拠点を設置し給餌等の費用を支援する。 2. 野良猫捕獲 ・捕獲機設置し、捕獲後、動物愛護センターに搬送し去勢不妊手術をする。 ・今期の猫去勢手術 1匹 累計32 匹 3. 里親探し ・動物愛護NPO等と連携し里親探しを行う。														
事業費	35,309円														
対象者	小松台地域住民														
野良猫捕獲手術匹数 (内訳)	<table><tr><th colspan="4">野良猫捕獲手術匹数 5年度3月現在</th></tr><tr><th>年度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr><tr><th>合 計</th><td>1 匹</td><td>2匹</td><td>3 匹</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			野良猫捕獲手術匹数 5年度3月現在				年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	合 計	1 匹	2匹	3 匹
野良猫捕獲手術匹数 5年度3月現在															
年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度												
合 計	1 匹	2匹	3 匹												
住民の声(アンケートの結果等) ※感想については原本と おりです。	野良猫の数と糞尿被害を少しづつでも少なくしてほしい。														

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	長期間の取組みとなる為、地域住民からの問い合わせに対しヒアリングを行っている。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会を通じチラシ等で周知。
	②住民の参加	A	A	該当する地域で猫の餌やり等に住民が参加している。			⑥課題解決への作用	B	B	昨年に続き去勢手術日が動物愛護センターよりの指定日と対象猫の捕獲がうまくいかず今期 ¹ 匹を去勢手術した。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	糞尿被害やゴミあさりなどの苦情の原因である野良猫の繁殖防止に繋げ野良猫の減少に取組む。			⑦住民の満足度	A	A	野良猫に去勢不妊手術をして自然に減少することは評価されている。
	④各種団体との連携	A	A	各自治会 動物愛護センター	事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和 5 年 3 月・)＞ 一自治会が事業を実施していますが、この活動は地域に浸透していると思います。今後も地域と連携した取組を期待しています。 ＜意見への対応＞ この活動に賛同し猫の世話をする人が各自治会の中にいないと難しい。一部の自治会で事業の検討をしているが拡大には至っていない。					対応	未・済		
		＜地域協議会からの意見(平成 年 月・)＞ ＜意見への対応＞					対応	未・済		

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[4]地域教育に係る事業

事業名	(教育文化スポーツ部会)「ふれあいin小松台」共催事業	実施年数	14年目																
事業期間	開始： H22 年度	終了： 年度																	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 地域の絆づくり 地域に対し貢献できる場等をつくり協力するまち																		
目的 (期待される効果)	地域の技人を募集し、小松台小学校行事「ふれあいin小松台」の講座の運営を担当して子どもたちと地域の人々と交流する機会を提供する。																		
事業内容・手段	「ふれあいin小松台」講座部門企画運営 開催日時:令和5年11月5日 会場 :小松台小学校 33講座 内容 :・地域の大人が講師になり子どもたちを指導することで、地域で子どもを育てることに取り組む。 ・小松台在住の方を中心に講師を探し講師に講座の内容を任せ主体的に活動してもらう。 ※コロナ禍の為、中止していたPTAの招待を再開した。																		
事業費	298,016 円																		
対象者	小松台地域住民																		
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>1,180名</td><td>642名</td><td>592名</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>140名</td><td>148名</td><td>138名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>1,320名</td><td>790名</td><td>730名</td></tr> </tbody> </table>			年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	1,180名	642名	592名	スタッフ	140名	148名	138名	合 計	1,320名	790名	730名
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																
一般参加者	1,180名	642名	592名																
スタッフ	140名	148名	138名																
合 計	1,320名	790名	730名																
児童の声(アンケートの結果等)	・壊れたおもちゃを修理した後そのおもちゃで遊んだ又自分でおもちゃ直したい。 ・パン作りがこんなに楽しいと思わなかった家族と作ってみたい。 ・年齢に関係なくできる将棋の楽しさにはまった。家族に教え対戦したい。 ・石のハンコを彫刻刀で彫りました一生使えるので大事に使います。 ・電気は光、熱、音、運動に使われていると知りました日常で意識すると楽しい。 ・面白いところがたくさんあった「やっちょっど宮崎すごろく」はやめられない。 ・太陽はどんな動きなのか黒点がどんなものか教えてもらった。 ・造景は最後の苔で印象が変わって風景の一部みたいな造景ができた。 ・アートなバッグみんな個性豊かなオリジナルバッグ作っていた。																		

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	前年の事業実施後にアンケート取りその意見を反映させて又、学校行事にも入っており年間行事で定着している。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会、小松台小学校、PTAを通して周知する。	
	②住民の参加	A	A	小松台小学校児童を中心に小学校の先生、小松台在住の有志者が参加した。コロナ禍後、久々にPTAも参加した。			⑥課題解決への作用	A	A	毎年30講座を目標に開催している。今期は33講座開設。新旧2講座変わっている。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の大人が講師になり子供たちを指導することで地域で子どもを育てるよう取組む。				⑦住民の満足度	A	A	児童もこの事業を楽しみにしており父兄も子どもの育成に必要と認識している。
	④各種団体との連携	A	A	小松台小学校 高岡保健福祉センター おもちゃ病院 九州電力 宮崎県職業能力開発協会 ボーイスカウト宮崎連盟	事業継続の必要性				有・無		
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和5 年 3 月・)＞ 優れた取り組みとして地域と学校の交流の場になっています。今後も新たな地域の人材を発掘し、講座内容を充実させてください。子ども達と地域の人たちの絆が深まることを期待します。 ＜意見への対応＞ 宮崎市で提唱してる地域学校共同活動に沿った事業になっています。							対応	未・済	
		＜地域協議会からの意見(平成 年 月・)＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[4]地域教育に係る事業

事業名	(教育文化スポーツ部会)子ども夢事業		実施年数	12年目																																
事業期間	開始： H24年度		終了： 年度																																	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 地域の絆づくり 地域の子どもは地域で育てる、地域教育力のあるまち																																			
目 的 (期待される効果)	地域の子どもたちは地域で育てることを目的とし、地域の知恵や技を教えてもらう講座を開催する。																																			
事業内容・手段	1. 親子工作教室 講師…おもちゃ病院みやざき ・「ゴムてっぼうをつくろう」… 5月13日 地域事務所 会議室 参加人数…17名 ・「アニマルペン立て」1… 7月8日 地域事務所 会議室 参加人数…20名 ・「アニマルペン立て」2…8月12日 地域事務所 会議室 参加人数…17名 ・「ダイヤだこを揚げよう」… 12月9日 地域事務所 会議室 参加人数…26名 2. 子どもの遊び場「プレーパーク共催事業」 ・実施日…令和5年4月～令和5年7月 水曜日 令和5年9月～令和6年2月 月曜日・水曜日 ※長期休暇(夏休み、冬休み、春休み)は除く ・場 所…小松台3号公園																																			
事業費	127,111円																																			
対 象 者	小松台地域住民																																			
参加者数 (内訳)	・親子工作教室(年4回) <table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td><td>令和3年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>80 名</td><td>88 名</td><td>59 名</td></tr><tr><td>スタッフ (1回当たり)</td><td>5 名</td><td>7 名</td><td>9 名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>85 名</td><td>95 名</td><td>68 名</td></tr></table> ・プレーパーク(参加人数は令和3.4年12月までの実績) <table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td><td>令和3年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>4,250 名</td><td>2,545 名</td><td>1,371 名</td></tr><tr><td>スタッフ (1回当たり)</td><td>7 名</td><td>7 名</td><td>7 名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>4,257 名</td><td>2,552 名</td><td>1,378 名</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ				年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	80 名	88 名	59 名	スタッフ (1回当たり)	5 名	7 名	9 名	合 計	85 名	95 名	68 名	年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	4,250 名	2,545 名	1,371 名	スタッフ (1回当たり)	7 名	7 名	7 名	合 計	4,257 名	2,552 名	1,378 名
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																																	
一般参加者	80 名	88 名	59 名																																	
スタッフ (1回当たり)	5 名	7 名	9 名																																	
合 計	85 名	95 名	68 名																																	
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																																	
一般参加者	4,250 名	2,545 名	1,371 名																																	
スタッフ (1回当たり)	7 名	7 名	7 名																																	
合 計	4,257 名	2,552 名	1,378 名																																	
住民の声(アンケートの結果等)	親子工作教室 ・親の私が、工作苦手で教える事できないのですごく有難かったです。 ・普段は既製品のおもちゃで遊んでいますので自分で作ったおもちゃで遊ぶのは貴重な体験です。 ・作る時にもいろいろ工夫ができるよう考えて下さり親子で勉強しながら楽しく作ることができました。 プレーパークで経験したこと ・友だちとたくさん遊べて友だちがたくさんできた。 ・自分で火を起こしてマシュマロを食べた。 ・木に登れるようになった。木や竹で刀を作った。																																			

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年、この事業は子どもたちの関心が高く保護者からの支持も高い。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	小松台小学校、PTAを通して周知する。	
	②住民の参加	A	A	小学校にチラシを配布している親子連れの参加が多い。			⑥課題解決への作用	B	B	親子工作教室で締め切り後の応募者が多数あったので小学校との連携をうまく図っていきたい。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	親子が一緒に観察したり遊んだり作業することで郷土愛を育む取組みしている。			⑦住民の満足度	A	A	工作づくりは、子どもたちから関心が高くリピータ、新規参加者も多い。プレーパークは子ども保護者の居場所として定着している。	
	④各種団体との連携	A	A	小松台小学校 おもちゃ病院小松台 NPO法人ヒミツキチ		事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞									
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見(令和5年3月・)＞ コロナ禍で一部事業の中止となりましたが、地域の人材を生かして親子工作教室、プレーパークが定期的に開催され子ども達の夢を育てることができています。 さらに工夫し充実した事業にしてください。 更に工夫し子どもたちのニーズにあった事業を行っていきます。						対応	未・済			
	＜地域協議会からの意見(令和 年 月・)＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済			

3 実施報告

[4]地域教育に係る事業

事業名	(教育文化スポーツ部会)大人のための実用講座開催事業	実施年数	10年目																
事業期間	開始: H26 年度	終了: 年度																	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 健康と福祉の充実したまちづくり 健康づくり、仲間作りに取り組む																		
目的 (期待される効果)	高齢社会を迎え、知っているようで知らない実用的な事を学ぶ																		
事業内容・手段	1. 講座「スマホの基本講座 ラインの使い方」 実施日…令和6年2月2日 10:00～12:00 会場…小松台北町集会場 講師…松尾氏、假屋氏 参加者…34名 講座内容…スマホのライン使用に絞った講座にした。参加者は高齢者が多かった。説明後の質問も多くあり次回開催の要請もあった。																		
事業費	13,235円																		
対象者	小松台地域住民																		
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>30名</td><td>41名</td><td>14名</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>4名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>34名</td><td>43名</td><td>16名</td></tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	30名	41名	14名	スタッフ	4名	2名	2名	合 計	34名	43名	16名
年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																
一般参加者	30名	41名	14名																
スタッフ	4名	2名	2名																
合 計	34名	43名	16名																
住民の声(アンケートの結果等) ※感想については原本とおりです。	・スマホ講座を定期的に開催していただくと助かる。 ・ラインで写真を送ることができてよかった。QRコードのやり方を覚えた。 ・説明内容も良く丁寧で資料もすごく良かった。詐欺の話大変良かった。 ・個別指導も親切でありがたかった。 ・一度で理解できないところがあったので再度講座をお願いしたい。																		

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年、事業実施時にアンケート取りその意見を次年度事業に反映させている。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会を通して周知する。
	②住民の参加	A	A	高齢者の比率が高いため住民の関心は高く講座の参加者は多い。			⑥課題解決への作用	A	A	昨年に続きスマホの講座を開催した。今回はスマホのラインンに限定し開催した。高齢者が多く参加し好評を得た。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	高齢者の在住が多いことから高齢者の身近な問題に取り組んでいる。				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	各自治会	事業継続の必要性					☐ 有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ スマホ使用で高齢者の使用頻度の高いラインに限定し講座を開催した。次回も開催してほしいとの要望が多かった。 来期は「大人の実用講座」を新たに「教育支援事業」に変更し内容充実を図る。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和5 年 3 月・)＞ 高齢社会を迎え、実用的なことを学ぶ有意義な事業となっています。今後も講座の内容募集方法に努めてください。 ＜意見への対応＞ 地域の方が求めている講座を開催していきます。							対応	未・ ☐ 済
		＜地域協議会からの意見(令和 年 月・)＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[5]その他の事業

事業名	(総務企画委員会)門松づくり支援事業	実施年数	10年目								
事業期間	開始: H26 年度	終了: 年度									
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 地域の絆づくり 自治会活動など地域活動の活発なまち										
目的 (期待される効果)	自治会の活動を支援し、地域活動の活性化を語る。										
事業内容・手段	ミニ門松づくり 自治会共催事業 門松づくりを開催 開催場所 ・ハイランド自治会・桜ヶ丘自治会・南自治会 ・北町自治会・もりした自治会・ピュアタウン自治会 開催日 12月23日(土)…ハイランド、もりした、 12月24日(日)…桜ヶ丘、北町、南、ピュアタウン										
事業費	121,182円										
対象者	小松台地域住民										
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>5年度</th><th>4年度</th><th>3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加世帯数</td><td>128世帯</td><td>136世帯</td><td>151世帯</td></tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	5年度	4年度	3年度	参加世帯数	128世帯	136世帯	151世帯
年 度	5年度	4年度	3年度								
参加世帯数	128世帯	136世帯	151世帯								
住民の声(アンケートの結果等)	・子どもと門松をつくり楽しませてもらいました。 ・また、来年お願いします。										

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	正月を迎え門松を飾りたい要望はある。	広報 事業の効果	⑤事業の周知	A	A	各自治会を通してチラシ配布。	
	②住民の参加	A	A	今年は、参加世帯が昨年より少なかったが、129世帯の参加者で竹を切り楽しく作っていた。		⑥課題解決への作用	B	B	参加者が年々少なくなっている。ニーズの精査が必要。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域住民が一堂に集まるので地域交流、絆づくりに取組める。		⑦住民の満足度	A	A	親子連れの参加も多くなっており楽しく門松制作に取り組んでいる。	
	④各種団体との連携	A	A	各自治体		事業継続の必要性			有・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和5年3月・)＞ 自治会との共催による事業として定着しています。参加者も多く人気の事業なので継続をお願いします。						対応	未・済	
		＜意見への対応＞ 各自治会との共催事業です。年末の恒例事業になっています。								
		＜地域協議会からの意見(平成 年 月・)＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[5]その他の事業

事業名	(総務企画委員会)まちづくり研修事業	実施年数	14年目																
事業期間	開始： H21 年度	終了： 年度																	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 安心安全なまちづくり 自治会活動など地域活動の活発なまち																		
目 的 (期待される効果)	まちづくり委員の資質向上を図る。																		
事業内容・手段	研修日時… 令和 5 年12 月5 日 晴天 研修先…大霧発電所見学 えびのまちづくりと意見交換 内 容…○大霧発電所 九州電力の方が地熱発電について発電方法の説明を受け発電所内を見学し説明を受けた。 ○えびの市まちづくりを訪問 えびの市のまちづくり協議会4団体(真幸まちづくり、上江まちづくり、飯野まちづくり、加久藤まちづくり)とえびの市役所会議室で意見交換した。互いの課題点等を話し有意義な時間を持てた。																		
事業費	128,165円																		
対 象 者	小松台地域まちづくり委員																		
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>5年度</th><th>4年度</th><th>3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>15名</td><td>16名</td><td>14名</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>1名</td><td>1名</td><td>1名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>16名</td><td>17名</td><td>15名</td></tr> </tbody> </table>			年 度	5年度	4年度	3年度	一般参加者	15名	16名	14名	スタッフ	1名	1名	1名	合 計	16名	17名	15名
年 度	5年度	4年度	3年度																
一般参加者	15名	16名	14名																
スタッフ	1名	1名	1名																
合 計	16名	17名	15名																
住民の声(アンケートの結果等)	・大霧発電所見学は地熱発電仕組みの説明を聞き勉強になった。 ・発電所の蒸気タービンを回す地熱を3,100m地下から取り出すことに技術の高さを見た。 ・クリーンな発電法なので全国で設置を増やしたいが経費、国定公園の壁など多くの障害があることもわかった。 ・えびの市まちづくり4団体との意見交換では共通の課題もあり今後のまちづくりの参考になった。																		

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年、事業実施時にアンケートを取りその意見を次年度事業に反映させている。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	各部会通して周知
	②住民の参加	A	A	まちづくり委員が対象。			⑥課題解決への作用	B	A	コロナ禍の中で視察先が限定されていたが、5類になったことで視察先範囲を広範囲にしたい。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり運営に他自治体視察は必要。			⑦住民の満足度	A	A	まちづくり委員が対象。
	④各種団体との連携	A	A	研修先…自治体		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・えびの市のまちづくり4団体と意見交換をえびの市職員の司会でえびの市役所内で意見交換ができた。互いの課題共通点もあり今後のまちづくり運営の参考になった。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和 5年 3 月・)＞ 各部会から役に立つ視察地を提案して選択し、研修目的を定めるなどし、各部会の事業充実をめざす研修事業としてください。 ＜意見への対応＞ 視察先を吟味し、まちづくりに寄与するような視察研修にしています。						対応	未・済	
		＜地域協議会からの意見(令和 年 月・)＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[5]その他の事業

事業名	(総務企画部会)小松台地域文化事業	実施年数	1年目
事業期間		終了: 年度	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 安心安全なまちづくり 自治会活動など地域活動の活発なまち		
目 的 (期待される効果)	子ども達が戻ってきたいと思える郷土愛をつくる 3世代小松台住民の親睦を図る		
事業内容・手段	○小松台地区社協の「福祉まつり」をまちづくりと共催事業にし「福祉まつり」の内容充実を図り小松台の大きなイベントに発展させ小松台文化祭規模になるよう社協とまちづくりで協議を持ち来年実施に繋げる。 第1回協議会…7月4日 社協・まちづくりで協議 共催する方向で検討する事に一致。 第2回協議を双方都合の良い日に実施することを確認した。 第2回協議会…令和6年1月16日 社協・まちづくりで協議 来期の「福祉まつり」は共催することで一致。 ○趣味の会(編み物等なんでも)会議室を利用した趣味活動を広く募集する。 来期は囲碁の交流会を地域事務所会議室で開催する。		
事業費	0円		
対 象 者	小松台地域まちづくり委員		
参加者数 (内訳)			
住民の声(アンケートの結果等)			

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握				広報	⑤事業の周知			
	②住民の参加					事業の効果	⑥課題解決への作用		
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性						⑦住民の満足度		
	④各種団体との連携				事業継続の必要性			○ 有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・)>						対応	未・済
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(平成 年 月・)>						対応	未・済
		<意見への対応>							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[5]その他の事業

事業名	(総務企画委員会)事務管理事業	実施年数	15年目
事業期間	開始: H21 年度	終了: 年度	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 安心安全なまちづくり 自治会活動など地域活動の活発なまち		
目的 (期待される効果)	まちづくり委員会の活動を円滑に進めるための事務局運営費。		
事業内容・手段	1. 会計管理、備品等管理 ボイスレコーダー昨年故障の為、1台購入…39,600円 インターネットルーター不具合の為、交換…13,200円 2. 部会開催に係る事務(日程調整・資料作成・文書送付) 3. 各部会開催のイベント企画・立案・実施支援 4. まちづくり関係の印刷物等の作成・配布 5. 事業計画・予算案・決算報告書作成 6. その他の事務管理に必要な備品・消耗品の購入 7. 年間役員費用弁償13名×3,000円支払 8. まちづくり委員 ボランティア保険に加入		
事業費	393,353円		
対象者			
参加者数 (内訳)	該当なし ※事業内容に応じて男女別や年代別データ		
住民の声(アンケートの結果等)	該当なし		

◆自己評価(評価:A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項			評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度	本年度	前年度							
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握			該当なし	事業の効果	広報	⑤事業の周知			該当なし		
	②住民の参加			該当なし			⑥課題解決への作用			該当なし		
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり委員会全体にかかる事務費を一括に管理することで各部会の予算がわかりやすい。			⑦住民の満足度			該当なし		
	④各種団体との連携	A	A	各自治会	事業継続の必要性					有・無		
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞										
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見(令和 年 月・)＞							対応	未・済		
		＜地域協議会からの意見(令和 年 月・)＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第 9 号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和 6 年 3 月 31 日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市小松台西 1-10-7
名 称 小松台地域まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名 会長 宮川 保
電 話 番 号 0985-48-1245

令和 5 年 3 月 31 日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、
決算において 849,430 円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届
け出ます。

繰越金内訳

基礎交付金 849,430 円

特例交付金 0 円

添 付 書 類

令和 5 年度収支決算書

令和 6 年 3 月 2 6 日

令和 5 年度 小松台地域まちづくり委員会への意見書 [事業実施報告]

小松台地域自治区地域協議会

会長 伊藤 照夫

令和 5 年度の小松台地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていまして、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

コロナ禍が明け、事業も通常通り行うことができるようになり、参加者もコロナ禍前に比べても増加しています。

地域住民の参加や地域の各団体との連携は、期待通りの成果が得られており、計画に沿って適正に運営されていまして。

今後も事業目的に沿った事業を展開し、更に充実した成果が得られるようお願いします。

2 事業の推進体制

多様な行事の開催と学校や自治会等地域団体と連携した事業により、まちづくりの活動が地域住民に定着してきました。

今後も地域の様々な団体と協力しながら、色々な世代の地域住民に参加を呼びかけ、まちづくり活動に関心を持ってもらえるよう努めてください。

また、まちづくり委員が増えるように、事業内容を工夫して活動していただくようお願いいたします。

3 各事業への意見

事業名	意見
小松台地域防災事業	小松台防災の日では、スタンプラリーが行われ、多くの参加者でにぎわいました。防災意識の向上に繋がる良い事業となっています。今後も継続的な取り組みをお願いします。
明るいまちづくり事業	青パトの活動は、地域の防犯や交通安全に大きく貢献しています。更なる住民への活動の浸透と隊員増員のため広報に努めてください。
ふれあい充実事業	高齢者日帰り旅行は一人暮らしの方を戸外へ誘い出す良い事業です。今後も高齢者の交流の機会として募集方法を工夫し継続に努めてください。
三世代交流事業	もちつきを通じ、幅広い世代が参加して交流できる良い事業となっています。

健康福祉事業	健康づくり教室は、今年度、骨密度、血管年齢測定をとりいれ、大変好評な事業となりました。今後も地域住民や地域団体と連携した取り組みを期待します。
環境美化学習事業	花の寄せ植え教室は、申込者も多く人気の事業となっています。
食育農業体験事業	子どもたちが土に触れる貴重な活動になっています。農業や農産物に理解を深める良い機会です。幅広い世代が参加して交流できる事業となっています。さらに活動が活発になることを期待します。
資源リサイクル事業	ペットボトルキャップ回収は14年継続され、発展途上国の医療費支援、リサイクルの大切さを解っていただくことに貢献した大変有意義な事業です。今年度をもって、まちづくり委員会としての目的は達成しての事業終了となります。
地域猫活動事業	地域猫活動は地域に浸透しています。今後も地域の協力のもと事業の継続に努めてください。
「ふれあい in 小松台」共催事業	優れた取り組みとして地域と学校の交流の場になっています。今後も新たな地域の人材を発掘し、講座内容を充実させてください。より一層、子どもたちと地域の人たちの絆が深まることを期待します。
子ども夢事業	地域の人材を生かして、親子工作教室、プレーパークが定期的で開催され、子どもたちの夢を育てることができています。更に工夫し充実した事業にしてください。
大人のための実用講座開催事業	高齢社会を迎え、実用的な事を学ぶ有意義な事業となっています。
門松づくり支援事業	自治会ごとに家族で参加でき、地域ぐるみで日本の伝統文化継承に取り組む良い事業です。自治会活動を支援し、まちづくり活動への理解を広める機会となっています。
まちづくり研修事業	各部会から役に立つ視察地を提案して選択し、研修目的を定めるなどし、研修内容の充実を図ってください。
事務管理事業	適正に実施されています。
小松台地域文化事業	今年度協議した、福祉まつりの社協との共催事業がより良い事業となるよう、今後も協議を継続してください。趣味の会の発足に努めてください。

4 その他

特にありません。